

授業改善推進プラン 中学1年生

	各教科の課題	課題に対する具体的な授業改善策	評価
国語	①漢字・語句・文法事項における基礎の徹底、および得た知識を活用させる力の定着を図る。	①漢字練習ノートで漢字の読み書きを練習させ、字形・筆順の確認と誤字の点検を行う。テストでは80%以上の点が取れるまで再テストを実施する。文法事項は応用的な問題も取り入れ繰り返し学習する。	【評価】
社会	①思考・判断能力の向上を図る。 ②文章読解の向上を図る。	①統計資料や写真資料などを活用して、「自分なら」と自らを見つめる思考力を定着させる。 ②教科書の文章や問題文を通して、文章理解や設問に正対する力を育む。	【評価】
数学	①数学的な見方や考え方の向上を図る。 ②早く正確に計算する技能を高める。	①教科書内にある応用問題やワーク内の発展問題を授業内に取り込む。 ②演習の時間を決め、時間内に速く正確に解く意識づけを行う。	【評価】
理科	①科学に関する基礎・基本となる知識を定着させる。	①理解度に応じた授業の振り返りと個別指導を行う。 ②基礎・基本テストを実施し、その復習を丁寧に行う。	【評価】
音楽	①基礎的な演奏技能を習得させる。 ②読譜能力を向上させる。	①歌う姿勢（器楽演奏する姿勢）を示し、自らの演奏課題と解決のポイントを発表させる。 ②楽譜を用いた演奏表現についての発問を通して、楽語や記号と音楽表現の結びつきを理解する力を高める。	【評価】
美術	①言語活動を充実させる。 ②思考・判断・表現力を向上させる。	①感想や発表など自分の考えを、筋道立てて言語化しまとめる。 ②作品を制作する際、自分の理想と完成までの過程を計画し取り組む。	【評価】
家庭	①基礎的・基本的な知識と技能の定着を図る。 ②言語活動を充実させる。	①具体例の写真などの視覚的教材を使い、知識と結び付けてイメージを持たせる。技能はポイントをおさえた反復練習を行う。 ②単元ごとに調べ学習や発表する場を作る。	【評価】

技術	①生活との関わりを意識した知識・技能の定着を図る。	①生活の中で見つけた課題の解決をテーマとし、生活を改善するための工夫をまとめさせ、製品の設計・製作に応用できる力を伸ばす。	【評価】
保体	①主体的に取り組む態度を育成する。 ②体力の向上を図る。	①単元ごとに必ず「主体的で対話的な深い学び」を意識した授業を実施し、「上手くなり方」の学習を行う。 ②筋力と柔軟性の向上に重点を置く。	【評価】
英語	①基礎的・基本的な技能の習得を図る。 ②基礎的・基本的な技能を活用し、表現をする力の育成を図る。	①新出単語・新出文法を、ワーク等を活用し、繰り返し練習をする。 ②既習の単語や文法を用いて発表や報告をする機会を設定する。	【評価】